

## 別記様式（第4条関係）

## 会議録

|                      |   |             |
|----------------------|---|-------------|
| 会議の名称                | 宍粟市特別職報酬等審議会（第3回）   |             |
| 開催日時                 | 令和7年11月6日（木）13時30分から14時45分まで  |             |
| 開催場所                 | 宍粟市役所 5階 503会議室   |             |
| 議長（委員長・会長）<br>氏名     | 会長 安原 勝則  |             |
| 委員名                  | (出席者)<br>安原勝則、壺阪順子、田中かおり、<br>藤原卓郎、津田晃伸  | (欠席者)<br>無し |
| 事務局名                 | 総務部 砂町部長、堀次長<br>総務部総務課 菅野次長兼課長、前野主査<br>議会事務局 谷本局長、岸元課長  |             |
| 傍聴人數                 | 0人  |             |
| 会議の公開・非公開の区分及び非公開の理由 | 公開・非公開  | (非公開の理由)    |
| 決定事項                 | <p>(議題及び決定事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会議録案、答申書案について委員から説明、質疑、意見を聴取。</li> <li>事務局答申案をベースに、●●委員から修正点等について回答があった内容に修正する。</li> <li>意見が分かれた点は両論併記したうえで、審議内容をもう少し詳しく記載する。</li> <li>市長への答申は会長、職務代理者が対応する。</li> <li>答申の日程等については別途会長、職務代理者と調整する。</li> </ul> |             |
| 会議経過                 | 別紙のとおり  |             |
| 会議資料等                | 別紙のとおり  |             |
| 議事録の確認               | <p>(委員長等)</p> <hr/> <p>安原 勝則</p>  |             |

## (会議の経過)

| 発言者 | 議題・発言内容  |
|-----|--|
|     | 1. 開会<br>2. あいさつ（会長）<br>3. 会議録（第2回）の確認<br>4. 答申書（案）について<br>5. その他<br>6. 閉会<br>（事前配布資料、当日配布資料の説明）   |
| 会長  | 今日の審議会で答申書の確定をしたいと思いますので、慎重審議のほどよろしくお願ひします。  |
| 事務局 | それでは3番、会議録の確認について事務局お願ひいたします。  |
| 事務局 | 第2回の会議録について、●●委員から回答頂いたとおり、事務局氏名が誤っていたため修正します。そのほかの委員からは会議録について修正点等ありませんでした。   |
| 事務局 | 会議録について、修正点等ほかにありませんか。   |
| 各委員 | はい。  |
| 事務局 | 4番の議事進行について、会長より進行をお願いします。   |
| 会長  | 会議録案、答申書案の修正等について、●●委員より締切り後に答申書案が提出されましたか、配布してよろしいですか。  |
| 委員  | 同じような内容であれば良いと思います。<br>（資料配布）  |
| 会長  | それでは、順番に説明をお願いします。事務局側の答申案とも見比べていただきながら、意見があればお願ひします。  |
| 委員  | 事務局から答申案をいただいて、審議の経過や付記事項など内容が少し薄いのではないか、いろいろ皆さんと議論を重ねた部分もあったので、その辺りをもう一度整理して、両論併記でという話だったので、このような意見があったということをきちんと明記して残したいと思いました。また根本的に、今回、報酬の評価制度を考えたのは、市長も含め、議員の皆さんもそうだと思うのですけれど、どちらかというと批判されることは日常多いのですけれども、褒められるることはなかなかないというのが現実です。ですから、市民の皆さんに分かりやすい指標を用いて、その中で頑張った部分の評価をきちんとする仕組みを私たちが提言するのは非常に大事なのではないかと思います。その中で皆さんで議論して、一つの目標に向かって、二元代表制の意味もしっかりと考えていただいて、こういう考え方もあるのだということ。今回、女性議員も非常に多く増えたので、今後のまちづくりについてしっかり議論を交わしていただきて、二元代表制の意味をしっかり考えていただきたい。今回改選があつて女性議員が増えたということもあって、今後のまちづくりについて、女性の視点で議論を交わしていただきて、より良いまちになればいいと思う。それを今までの人事院勧告に沿ってというよりも、やったことに対してきちんと評価してあげる仕組みをつくることが一番大事なのではないかと思う。市長や議員をやっていて批判されることも非常に多いので、活動した分、しっかりと町がよ |

|    |  |
|----|--|
|    | <p>くなった部分、人口減少という一つの大きな課題に向けて、そういったことをベースに置きながら皆さんで議論して、市民の方に分かりやすい評価基準を設けて、それに基づいて私たちが評価していくという一定のスタート、形ができればいいという思いも込めながら、一つの案をまとめさせていただきました。いろいろ議論を交わした中で、皆さんの意見もありましたので、両論併記で報酬は今までどおり、また、上げた方が良いという意見もあり、審議会でまとまらなかった、審議会でこういう話をしたというところを、議員の皆さんや市長に、会議録を見てどのような意見が出たのかというのを読んでいただくのも失礼なので、しっかり答申書として出すのが一番丁寧なのではないかという思いでまとめていますので、一度御覧頂いて、色々な意見交換ができればと思っています。</p>  |
| 会長 | <p>資料をご確認いただく時間が短いのですが、いかがですか。●●委員からご意見を色々書いていただいているが、まずこの審議会は、市長から報酬、期末手当をどうするかということを諮問されています。そういった点からも見ながらご意見をお願いします。</p>  |
| 委員 | <p>●●委員が作成された答申案で、審議の過程でこれが出たのかという点ですが、4ページと6ページの「二元代表制」という議論については、●●委員からも出ていなかったと思うので、記載するのはどうかと思いました。また6ページですが、5番の「市長および議員は、市民から批判を受けることがあっても成果を褒められる機会が少なく、日々の努力が十分に理解されてない現状がある。」という点について、お気持ちはよく分かるのですが、成果を反映させるべきという議論の中で、ニュアンスとしてはあったかもしれません、この話も無かったと思います。もう一点、4ページの「人口減少と財政の硬直化」について、人口減少というのは確かに出てきて、果たして上げられるかという議論をしたと思います。硬直化というとここまで記載するべきかどうか疑問に思ったところです。</p>   |
| 委員 | <p>もともとこの評価制度を考えたのが私の答申案の最後に記載しているところでした。こういう視点があるので、そこをもう少し具体的に記載すること、なぜこういう評価制度を私が言ったのかという部分、そういう視点があるというところを皆さんにご理解頂けるなら、ここは入れていただけたらと思います。二元代表制の部分に関しては、別に記載しなくてもいいと思います。財政の硬直化の部分に関しては、新病院の件でも今後の課題、財政についても市としても考えていかないといけない部分もあったので、財政硬直化という文言は消していただいて、人口減少という部分が一番深刻な問題になってきますので、必要ないのではないかという部分に関しては削って頂いてもいいと思います。本当に今後の宍粟市を見たときに、病院を建てて、人口が減っていく中でどうやって維持するのかという話にもなってきますので、それだけ大きなものを背負っていくという部分に、医療と教育についてもっと国が支援すべきではないか。そこに対してやはり市長にはもっとトップセールスをしていただきたいですし、国からの補助金をもっと取ってきてもらうような仕組みを、人口が減っていくこの町で、支えていけるのかというところについて、すごく心配している部分もあります。そういう思いがあったので、「議会と行政の関係性についての意見」についてというところを追記させていただいたのですが、必要ないと言われるなら私はこれで構いません。子供たちが帰ってきたいと思える町であってほしいという思いはありますので、そういう町になること祈りながらという思いも込めて文章を作ってみました。あまりにも私たちが議論した内容が薄過ぎたので、1番最初に答えを記載しておいて、市長や議員の方々に会議録を見ていただくのも失礼な話なので、どのような議論が出たということを明確に載せるべきだと思い、こういう形でまとめさせていただいた。あとは皆さんといろいろ議論を交わしさせていただけたらと思います。</p> |
| 委員 | <p>今回の諮問の中で、報酬と期末手当を上げるか上げないか、ということで、●●委員が言われたこと、今の市の状態から言えば本当にそうだと思うのですが、こういうことに関しては答申の中の付記事項に、今回このような意見があったことを明確に記録しても</p>   |

|    |   |
|----|---|
|    | いいのではないかと思います。それから事務局が作成した答申案について、私と●●委員と●●委員は意見がなかったということも考えながら議論していただきたいと思います。  |
| 委員 | ●●委員が作成された答申書案 5 ページの付記事項について、「2 の報酬審議会の構成を抜本的に見直し…」という部分について、「補助金交付団体中心の構成からの脱却」という点について、●●団体は補助金を受け取っていません。市債を買うということはあります。対等というわけではありませんが、お互いに地域の活性化、振興を図っているというような団体ですので、そのような中から公共性のある団体からの選出ということで私が選出されたと思うので、補助金をもらっている団体といつても、意見としては公正な意見を出すという方が選ばれていますので、脱却というところまで記載するのはどうかと思っています。   |
| 委員 | ちょっと書き方がきついかもしませんが、この人数で議論をするのも、補助がある団体はなかなか言いにくい部分も出てくると思うのです。そういう部分を含めて、今後の構成を考えてもらえたると思います、言い回しに関しては、直してもらってもいいと思います。今日作成しながら、確かにきつ過ぎるという思いも持っています。とはいって、ほかの団体でどうかと考えたときに、なかなかいらないという思いもありますので、そこは本当に中立的な立場でいろんな皆さんの意見をしっかり言えるよう、この人数で決めるのは難しいところに来ているのではないかという私の率直な意見で、年齢層もいろいろ広げていただいて、いろんな幅広い意見を取り入れられたらと思います。しかし、なかなか答えが出づに難しいと思うので、一定の評価制度があって、その条件を達成していたら、よく頑張ったと褒めてあげるような立場になっていかないといけないと思っています。   |
| 委員 | ●●団体は補助金をもらっています。ただし、●●団体や●●団体は会費で成り立っています。先日、●●団体と女性議員との交流会があって、私たちも意見を言いましたし、女性議員の方がどのような気持ちで市議会に立候補したか、どのような活動をしたいか、ということを熱心に答えられていました。そこで初めて私たちもこのような気持ちがあったという事が分かりました。●●団体は 15 人で、女性議員が 6 人来られて、その 6 人の気持ちが全部入っていて、これからの中をを変えよう、身近なことから女性の立場として話し合いました。6 人の女性議員のお話を聞いて、どのような活動をされているかということが分かりました。議員がどのような活動をしているか、全然内容が分からなかったので、選挙のたびにいつも困っていました。別に毎月ではなくても半年や一年に一回でもいいから、このような活動をして、このような結果が出て、中はこうなっていく、そういう事をもっと皆さんに知っていただきたいと思いますし、これからの中は、人口減少や新病院など、本当に大変だと思います。だから、もっとそのような活動内容を見てから報酬を決められたらいいと思います。それから、私が調べたところによると、はりま姫路総合医療センターは全国で 3 番目の赤字です。中は総合病院も今も赤字で、これから運営していくうえでも多分赤字だと思います。それをどのようにして工面するのか、これ以上税金も上げて欲しくないです、もっと考えてほしいです。 |
| 会長 | さきほども言いましたように、この審議会の目的は、あくまでも報酬と期末手当の率をどうするか、ということです。   |
| 委員 | 事務局が作成した答申案について、特に訂正や意見はないです。それから、まとめもこのような話が出た、このような話合いをしたということが簡潔にまとめてあると思います。●●委員の答申案について、事務局案と同じではないと思うところは、1 ページ目の答申に、報酬と期末手当の率をどうするかということを審議会で審議するようにという市長から諮問があったので、事務局の素案どおりまとめてお返しするのがいいのではないかと思います。1 ページ目の「ただし、今後に向けては、特別職にふさわしい「成  |

|    |   |
|----|---|
|    | <p>果」と「責任」を基軸とした報酬制度の構築が必要であることを強く指摘する」という文言がありますが、意見は出したとしても、強く指摘するというのは私の気持ちにはちょっと反するところもありますし、また「ただし…」と付けるのであれば、このような意見も出たとまとめていただいている付記事項の中で表記があればいいのではないかと思うので、私は事務局の素案に沿っていけばいいのではないかと思っています。</p>   |
| 委員 | <p>●●委員のおっしゃるとおり、初めの部分に関しては、事務局案でいいのではないかと思います。そのあと部分については、私たちがしっかりと審議した内容の部分に関しては、審議内容と付記事項のところに2回の審議会でいろいろ議論を交わしてきた内容をまとめた部分だったので、具体的にまとめたほうが皆さん分かりやすいのではないかという思いと、最後にお話しさせていただいたように、根本的ななぜ評価制度なのかというところ。別に給料上げたくないと言っているわけではなく、本当に、議員や市長は大変な仕事をされています。私たちが評価する中で、しっかりと目に見える、皆さんに理解してもらえるような評価制度があれば、本当に頑張ったところをきちんと評価する仕組みをつくることは非常に大事なのではないかという思いもありましたので、そのような意図があるというところ、それが最終的には職員のやりがいにもつながってくるのではないかと思っています。皆さん志を持って立ち上がられていますので、批判の政治から、成果を認める政治へ転換するための第一歩として、評価制度をつくるべきなのではないかという思いで私は意見させていただいたのですが、その辺りも含めて理解しやすく記載したということです。審議内容のところだけ、もう少し簡潔に両論併記が出たということ、このような意見がお互いあったというところを追記すればいいのではないかと思いました。</p> |
| 委員 | <p>宍粟市の議員は色々な活動をされていると思います。市長も正式な会議だけでなく、色々なところで立ち話的に市の財政などの話もされていると思うのですが、それが目に見えてくるのはかなり先ですので、議員がどのような活動をされているのかというのは私たちはまだあまり分からぬ状態で、結果がどうなのかという事を成果だけで判断するのは難しいところがある。前にも言いましたように、結果として4年に1回の選挙で市民に判断いただくということなので、報酬については上げる、下げるということを、私たちの審議会の中で大きな問題にして審議するべきではないと思います。話が審議会から議会の話になっているような気がするのですが、いかがでしょうか。</p>   |
| 委員 | <p>私の修正箇所も確認していただいた方がいいと思います。事務局案の3ページの審議内容について、「審議を行った結果、…引き上げるという整理にまでは至らなかった。」の部分について、報酬と期末手当の記載を分けたほうが分かりやすいと思いました。審議の中でも、今の状況はあまり高いとは言えないということを私も言いましたし、ほかの委員からも意見が出たと思います。そのため、「審議を行った結果、市長及び議会議員の報酬は、社会・経済情勢また民間企業の動向からすると決して高いとは言えないが、改選直後であることなどから据え置くこととした。」そのあとに、「期末手当の支給率は、昨年度の審議会での意見を踏まえて引き上げるべきとの意見が過半であったが、成果に応じて連動させることについての意見が出され審議を重ねたが、引き上げるという整理に至らなかった。」として、原案からすると、事務局案からそんなに訂正はされていないと思います。もう一点、委員名簿の訂正もよろしくお願いします。</p>   |
| 委員 | <p>先ほど●●委員が言われたように問題ないと思います。私の思いとしては、付記事項だけもう少し細かくまとめた文章を丁寧に載せたほうがいいのではないかという思いで作った部分なので、皆さんが書く必要が無いということであればいいのですが、私は市長を含め議員の皆さんにもこのような意見があったというところを簡潔に分かりやすく、会議録を読んでいただくよりも、このような意見があったというところを、必要箇所だけもう少しボリュームを持たせてしっかりと載せてほしいという思いで作らせていただいた。いろいろ議論を交わしましたので、そこは先ほどの●●委員の意見も含めて、もう少し丁寧に書いてほしいという思いで作ったのです。その中で、どのような文言を</p>  |

|     |   |
|-----|---|
|     | 使われるか、私もこれはおかしいと思う部分は訂正して全然問題ないので、事務局答申案の3,4番のところにもう少し追記してほしいという思いです。   |
| 会長  | ●●委員の意見、大変よく分かります。自身の意見をみなさんのことを見て言っていただいていると思います。答申書は審議会として市長に提出するもので、●●委員の意見はきちんと会議録の中に残りますし、付記事項の中にも大きな意味では形として残っていると思いますので、審議会として事務局案でいくか、●●委員が言われたところを追加するか、みなさんで考えていただければと思います。   |
| 委員  | 私の案を丸々採用するのではなく、先ほど会長からも言わされたように、審議の経過の部分の3番は消していいと思いますし、結論としてこのような意見があったというところについて、先ほど●●委員の意見も含めながら、議論の経緯をきちんと残しておかなければいけないと思って、もう少し具体的に作って採用してもらう部分は採用してもらえたと思う。両論併記という話を前回の審議会でお話ししていましたので、そこをもう少し具体的に記載したということです。付記事項については、皆さんにこれは要らないのではないかと思うところは記載しなくていいと思うのですが、もう少し見やすくするために書いたものだったので、これは違うという部分があれば消して問題ないですし、評価制度の話も、今回5番に追記している部分も、基本的にはそういう思いだというところが分かってもらうために追記したものなので、必要ないと言われるのであれば記載しなくてもいいですが、根本には皆さんに文字で伝えたいという思いがあったのです。   |
| 委員  | 今までの議論を全て載せるわけにいかないのですが、項目ごと、分かりやすいように書くということは、事務局案の4の付記事項にもう少し入れてはどうかと思います。どれを入れたらいいかというのはまだ読み切れないで分からぬのですが、市民の理解を得るというようなことも書いてあるのですけれども、もう少し強めたらいいのではないかと思いますし、付記事項の中で、もう少し議論の内容を入れていただきたいと思います。あとは議事録を読んでもらうしか仕方ないとは思います。   |
| 事務局 | 事務局の案として今回、事前にメール等で送った部分は、皆さん全員の意見ではなかつた部分も含めて、このような意見が大勢だったということに絞った形で書いていますので、●●委員が言わるように、ちょっと分かりにくい、省略している部分があるのも確かです。基本的には最初に言わされましたように、諮問のあった内容について委員から審議会としての意見を答申書にすることになるので、前回、この場で決めるのは責任が重いという意見があったのですが、あくまでも委員の意見、思いを言っていただいたら良い場です。その結果として、報酬、期末手当についてまず大事なところについては書かせていただきたいということで、この部分については事務局案でいいのではないかという意見が大半だったと思います。それから、●●委員の両論併記の部分は、審議の内容も含めてもう少し分かるように答申書の中にも残すべきではないかという点については、付記事項のところで●●委員が作成した答申案で言うと、3ページの「(1) 人事院勧告に準じて改定すべきとする意見」と「(2) 成果に応じた評価制度を導入すべきとする意見」が出たということを付記事項の中に追加する。というところが必要なのではないかという意見があったということでまとめようと思います。また、4ページの「(3) 議会と行政の関係性についての意見」は削除しても良いということだったので、削除していいか皆さんで確認をお願いします。●●委員が言われた追加すべき内容のところで、事務局答申案の資料3ページの3.審議内容のところで、●●委員が出された修正部分を追記する点については、皆さん特に異論ないと思います。基本的には事務局答申案をベースにしつつ、●●委員の言われた部分を付記事項のところで、両論がもう少し分かるように●●委員が作成した答申案の4ページの「人事院勧告準拠派の意見」と「成果連動派の意見」を記載しても良いか確認をお願いします。 |
| 委員  | 私はそれでいいと思います。付記のところで増やせばかなりボリュームが増えるので、項目だけになるかもしれませんのが両論併記ということで、●●委員は不満足かもしれません   |

|    |  |
|----|--|
|    | せんが仕方ないと思います。  |
| 委員 | 両論併記の部分について、付記事項で私が作成した答申案4,5番で人口減少対策、このような指標を用いたらどうかという提案をしたので、成果に応じた評価制度を導入するという意見に追記してまとめてもらえるならそれでも構いません。もしそれが入らないというのであれば、会議録に残るように全部読み上げさせていただきたいと思いますが、そこは会長にお任せします。  |
| 会長 | 答申書は審議会としての意見として出すものでありますので、皆さんのお意見で決めていきたいと思うのですが。  |
| 委員 | 先ほどの両論併記のところで、どこを記載すれば良いか分からなかつたので、もう一度説明をお願いします。  |
| 委員 | 人事院勧告に準じて改定すべきとする意見、成果に応じた評価制度を導入すべきという意見が出たというところに、最後になぜ評価制度を導入すべきなのかというところは、人口減少が一番市民の方々に分かりやすい指標なのではないかという案も出たということを残していただきたい。それから、根底にあるのは、6ページの5.「市長および議員は、市民から批判を受けることはあっても、成果を褒められる機会が少なく、日々の努力が十分に理解されていない現状がある。」これも先ほど議会報告会に来てもなかなか参加が少ない、やはり選挙が終わると皆さんの関心も低くなります。会えばお話しする機会もありますが、その成果などがなかなか理解されないという現状があるので、5.「だからこそ、市民に対して単年度ごとの分かりやすい目標指標を設定し、その結果を共有・評価する仕組みをつくることが求められる。」のが大事なのではないか。そうすることで、私が案に記載している、「この仕組みは、市民が政治を「見えるもの」として理解する契機となり、議員や職員のやりがいを高めるとともに、志を持って立ち上がる新しい人材の登用にもつながる。」のではないかという思いから、評価制度の導入を考えてみてはどうかということをお話ししました。根底にある部分を理解してもらいたいという思いがあったので、それを追記していただけるのであれば、私は問題ないと思っています。 |
| 委員 | すると、4ページの「(A) 人事院勧告準拠派の意見」と「(B) 成果運動派の意見」を中心に、(B)の意見に6ページの4.「人口減少率」を成果評価の基準として導入することを検討すること。と、先ほど●●委員が言わされた5.の内容も入れるということでしょうか。  |
| 委員 | 根底にあるのはこれだということが分かつてもらえればと思う。  |
| 委員 | 気持ちは分かるのですが、5.は第三者から見ると、市議会は中立の立場から言うと、「成果を褒められる機会が少なく」というのは、当事者のニュアンスを感じます。ですから4.を入れることは可能だと思うのですが、5.については私の感覚としては省いたほうがいいという思いもあります。   |
| 委員 | 審議会の合意決定は、多数決なのか、全員合意なのか、●●委員が作成された答申書案を細かく読むと、人口減少については私が第1回の会議で意見を述べたのですが、それが果たして成果、指標につながるのかと思いますし、そこがすごく疑問で、私はそこではないという意見を述べたと思います。それから、なかなか評価指標のようなものを作るのは、具体的にどのようなことをすればいいのか。アンケートをとるのか。でもそれは4年に1度の選挙が市民の評価を受けてすることになるのではないかと●●委員も言わっていましたし、皆さんの意見をまとめたと言われつつ、すごく個人的な意見でまとまっていると思いながら見ています。5人でいろいろ話したことがざっくりこのようない見が出たということでまとめてあるなら、私は細かくこのようない見が出たという事  |

|     |   |
|-----|---|
|     | を付記する必要はないのではないかと思います。  |
| 委員  | この審議会は答申書を提出するものですので、●●委員の思いはよく分かりますし、理解もできたのですが、取り入れるとこは取り入れながらも、個人の意見として答申書を提出するわけにはいかないと私は思います。このことについては先ほど●●委員が言われましたように会議録に残っています。これだけの会議録を読むのは大変なのですが、そこは事務局からこののような意見があったということを一定、伝えていただけるのではないかと思いますので、私は大まかには事務局案でいいと思います。                                       |
| 委員  | 私も「市長および議員は、市民から批判されることはある、…」という点が引っかかって、先日2日に姫路へ行ったとき、駅の裏で宍粟市の職員が車で市長のお迎えに来られているのだろうと思ったのですが、日曜日まで一生懸命市長が働いているのはすごく認めています。また議員も議員だよりだけ見たら活動状況が見えないのですが、批判はしていません。議員活動をされているのだろうとは思うのですが、それを何か活動をして結果が分かるように出してもらえたとと思いました。   |
| 委員  | 審議会で議論した内容について事務局に確認したいのですが、少数意見については会議録を読んでもらうということでまとめるのか、ご意見があったということを残すのかというところですが、その辺りはどういう判断をされますか。   |
| 事務局 | 今回、これまでにない両論併記ということで意見が分かれたというような答申内容になるので、それについては審議内容を分かりやすく書く必要があると思います。●●委員が言わるのは、今の報酬制度の在り方を見直す必要があるというところが1番だと思うので、そのことはもちろん書かないといけないです。それが何故かというところは書いていただく必要はないと思いますが、その背景についてはもう少し分かる形で付記する必要があると考えています。  |
| 委員  | 先ほど回答頂きましたので、その辺りも含めてまとめていただけたらと思います。私は、今日このように議論できたので、先ほど事務局から出た両論併記という形で出す、その部分について、どのような意見があったかということをもう少し分かりやすく記載して作成していただければと思います。  |
| 会長  | それでは事務局、今までの意見を整理して、各委員にお知らせいただけますか。  |
| 事務局 | 先ほど事務局が回答したとおり、その背景も含めてもう少し、両論併記についてどのような意見が出たかということを答申書の中に分かりやすく記載したいと思います。●●委員の修正部分も含めて、追加した答申書案をまとめて委員に確認をしていただきます。来週中には最終の修正案を送りたいと思いますので、内容をご確認のうえ修正の有無に関係なく回答をいただき、その結果に基づいて、最終的な答申書をお示しして、修正がかなりあるようでしたらもう一度同じようにやりとりする必要があると思いますが、基本的には文書のやりとりで良いか、会長から確認をお願いします。 |
| 会長  | 事務局から修正案等について、文書のやりとりで良いか確認がありましたが、よろしいですか。   |
| 各委員 | はい。   |
| 事務局 | それでは、答申内容が決定すれば、答申書を市長に渡していただくことになりますが、会長が1人で渡される場合、皆さんで日程調整して集まって出される場合があります。今回のメンバーでは、どのようにされるか確認をお願いします。   |
| 会長  | 答申書を市長に渡すことについて、どのようにしますか。  |

|       |   |
|-------|---|
| 委員    | 会長、副会長にお願いしたいと思います。   |
| 職務代理者 | はい。   |
| 会長    | それでは、会長と副会長で行かせていただきます。   |
| 事務局   | 市長の日程も踏まえて、会長、職務代理者と日程調整させていただきます。  |
| 会長    | 全ての議事が終わりましたので、最後に事務局からお願いします。  |
| 事務局   | 今日いただいた意見について、もう一度こちらで追記するところなどを含めて整理して、来週中には委員に最終の答申書をご確認いただけるようにしたいと思いますので、回答をよろしくお願ひします。それから、いずれにしても会長等から、市長に答申書を渡したということも、委員の皆さんに連絡させていただきます。いったん今回で、令和7年度の報酬審議会は終了しますが、2年の任期で委嘱書をお渡ししていますので、引き続きこのメンバーでよろしくお願ひします。 |
| 事務局   | 事務局の答申案の2ページ下の開催日について、第1~3回の日にちの日が抜けているので修正します。   |
| 事務局   | 本日は、慎重に御審議頂きましてありがとうございます。閉会につきまして、職務代理のほうからお願ひします。本日はお疲れさまでした。   |
| 職務代理者 | この3回の審議会でいろいろな意見を交わし、色々なことを考えて、私も勉強させていただきました。これから宍粟市がより良くなるように、本当にそれを願って、第3回宍粟市特別職報酬等審議会を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。   |